



えどがわ産業ナビ ▶ 事業所Pickupレポート ▶ 守製鉄株式会社

もりせいびょうかぶしきがいしゃ

■ 守製鉄 株式会社

INTERVIEW EDOGAWA NAVI

Interview No.6



ものづくりは人づくり 特殊部品とリベット コストダウンのプロ集団

■取材日:2016年11月10日

会社概要

大正6年リベット 専門メーカーとして創業以来100年、一貫して圧造メーカーとして歩んでいる。顧客のコストダウンをお手伝いするプロとして、不良品をつくらない生産システムに挑戦しており、不良品発生率0.000003%を達成。また近年では様々なニーズにお応えすべく、圧造技術を生かして、VA提案を積極的に行いリベットから精密部品までをワンストップで生産。鉄は決して目立たない、しかし現代の生活に欠かすことはできないモノ。創意、熱意、人の和でより良き品を供給し社会に貢献し続けている。

社長さん紹介

祖父の代から3代目として事業を引き継ぎ18年目。大学卒業後、大手自動車部品メーカーへ修行のため就職。その後家業を継ぎ現在に至る。「私たちが作っている鉄は、普段は表に出ない地味な製品です。しかし、ものづくりには必要不可欠で、絶対に不良品があってはいけない非常に重要なパーツです。それを地道に地道に、ただただ真面目に、本業一筋で守って来ました。今までも、これからも変わらずに安定した製品づくりを行ってまいります。」と柔らかい物腰の中にも、揺るぎない信念が滲み出ていた社長さんのお姿はとても印象的でした。

-インタビュー memo -

弓道部の監督として学生に指導していたこともあるという弓の腕前をお持ちの社長さん。「全国大会へ導くため、毎日数時間かけて生徒たちが待つ学校へ向かい、夜遅くまで指導していた頃が懐かしいです。」と目を細めながらお話して下さいました。武道を極めた凛とした佇まいと、美しい立ち姿がとても印象的でした。



代表取締役社長 守 伸之
Nobuyuki Mori

■ 自社の強みはなんですか？

本業である、「リベット 専業」を貫きワンストップでの製造販売を行っております。そのため徹底的なコストダウンのお手伝いが可能な所です。当社の製品は1つあたりが「1銭・2銭」の世界です。納品数や用途に応じ、切削加工を微調整することで、結果的にコストを大幅に削減できます。また、納品先のスケジュールに合わせ、即日発注にも対応。工場内のオートメーション化により24時間体制で製品を作り続けることが可能です。

お取引先から即日大量に納品して欲しいといったご要望も多く、それを実現するために、スピーディーかつ不良品は出さないといった仕事が要求されます。とても小さな製品ですが、部品として重要な役割を果たしている鉄です。そのため当社では徹底的に不良品を作らない体制づくりを整えました。その結果、不良品発生率0.000003%を達成、生産量は国内トップクラスです。徹底した品質管理による製品づくりを実現しており、何よりの強みです。



■ 創業100年に渡り安定的に事業を続けて来られた秘訣を教えてください。



初代から、本業一筋で会社を守り続けて来た事が、何よりの安定経営に繋がっていると感じています。100年を超える時代の中で様々な世の動きがありましたが、流されることなく「ものづくり企業」としての仕事をしてきました。

戦中、戦後には軍事用の部品製作に従事していた事や、民需により鍋を作っていた時期もありました。それでも基本は「鉄」に注力し続けました。製品として華やかさはありませんが、ものづくりの現場で欠かす事の出来ない重要な部品です。そのため不良品が許されません。そのクオリティーを維持するために、日頃からの堅実な生活や仕事への姿勢が重要と考えています。そのため、当社では人材確保時や育成に関して「真面目で堅実な人柄」を重視し教育を行っております。この社風に合ったスタッフが多く勤続年数も長い事が、事業を安定的に続けてこられた秘訣でもあると思います。

2代目である父からは、あれこれと言われた訳ではなく、仕事は見て覚える事が多かったと思います。多くを語らず、やりたい事をやらせてくれました。月並みですが、背中仕事で仕事を教えてくれたと思います。そんな父や祖父の姿と同じ様に社長として体現していけたら良いのではと、今もそのように心がけています。また、社長就任前に勤めていた企業との関係も大きく、販路の拡大のきっかけにもなりました。もちろん、景気の浮き沈みなどから経営状況が苦しい時もありました。製品1つあたりの単価が安い為、見積り段階で円・銭・厘単位での厳しい交渉も多いのが現状です。そんな中で勝負するには、納品した製品の出来が全てで、それにより次のお取引に繋がります。私たちの事業スタイルはそういった製品の特性からも「堅実にコツコツ」が当たり前前の姿としてあり、それによって培われた技術力、人間力、企業力による底力によるものと思います。

社内の様子



総務課：加藤さん（入社 50 年目）

会社の経理を一手に管理されている。「10代で入社、初代守大八社長、二代目守克彦社長、現守伸之社長へ仕え、共に半世紀歩んで来ました。毎日忙しいけれど何事にも“ヘコタレナイ”で私らしくある今に満足しています。直属の素晴らしい上司に支えられ自分の仕事があったからこそ、どんなことも乗り越えられたと思います。社会人にとって、人との出会いはとても重要で『ものづくりは、人づくり』と考えています。会社設立 100 周年の大きな節目、これからも江戸川区に貢献してまいりたいです。」とにこやかにお話しして下さいました。書類を操る美しい所作がとても魅力的でした。

総務課：鈴木さん（入社 2 年目）

「写真は恥ずかしいですよー！」と照れ笑いされるお姿がとてもチャーミング。「ハローワークの求人から応募し、採用して頂きました。まだ入社したばかりで右も左も分かりませんが、大先輩がとても優しく指導して下さいるので、安心してお仕事させていただいています。早く一人前になれる様、頑張ります！」とイキイキとお話しして下さいました。



製造部 石井さん（入社 38 年目）

真剣な眼差しで、数台の切断機を管理されている最中。「加工が単純な製品もあれば複雑な製品もあり、精度も要求され大変なことも多々ありますが、難しい製品ほど出来上がったときにとてもやりがいを感じるんです。」お話し下さる時はとても朗らかで、丁寧に鋸についての説明もして下さいました。油まみれの厚くて大きな手のひらに職人さんとしての歴史を感じました。

品質管理部 小松さん（入社 10 年目）

工場内の全体を見て回り品質管理をされている小松さん。「この会社では 10 年目、品質管理部門では 7 年目、まだまだ駆け出しですよ。立場上、全体を考えて社内を飛び回って仕事をしている感じですかね。」と照れ笑いされていました。生産管理上で最も重要な画像選別機を紹介して下さいた時の横顔はものづくり職人さんそのものでした。



決算公告を自社Webサイトへ公開していますね？どんな効果がありますか？



決算公告として貸借対照表を自社Web上で公開している事業所は江戸川区内でも少ない方だと思います。製品の紹介も重要ですが、当社の経営状況が安定している事を知って頂き、安心して取引して頂くための何よりの指標になると考えております。また、本業一筋で事業運営を行ってきた結果、安定的に会社資本を運用することが可能になっています。その背景を知って頂くためにも、公開に踏み切っています。

【守製紙株式会社のホームページはこちら】

<http://www.mori-seiby.co.jp/>

製品紹介

こんな部品はぜひご相談ください。大幅なコストダウンの可能性あります。



数量が5000個以上で
切削加工している部品



歩留まりの悪い切削部品
特に丸いカタチの部品は可能性大



製造工程が多岐に渡り、冷間圧造後
切削プレスなどの工程がある部品

プロの技

冷間圧造に徹して80年、技を磨いてきました。金型を自社で微調整して公差の厳しい部品を作る技術や、自社で研究開発した貫通ピンによる中空・貫通加工などを得意としています。

— 特殊部品制作寸法範囲 —



■ 中空部品
太さ: $\phi 0.6 \sim \phi 14\text{mm}$
長さ: 1~100mm



■ 貫通部品
太さ: $\phi 2 \sim \phi 12\text{mm}$
長さ: 2~40mm



■ リベット
太さ: $\phi 0.6 \sim \phi 16\text{mm}$
長さ: 1~150mm

【取扱材質】SS、AL、AL合金、Cu、Bs、SuS、その他

- インタビュー memo -

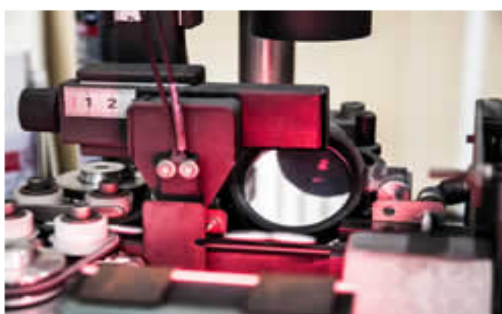
3人のお子さんの父でもある社長さん。「子どもたちの成長とともに、多感な時期が乗り切れるか?と不安もありました。そんな時、中心でみんなを癒してくれたのは4人目の”子”の「リト」(右写真)です。リトの話になるといつも以上に会話が弾みます。しぐさも表情も人間そのもの。かけがえのない家族の一員なんです。」と語って下さった時の表情は”イクメン”そのものでした。



■ 社内及び工場内の設備投資・環境整備に積極的に取り組まれていますね



製造工場兼本社機能をしっかりと果たすべく、昨年度に節電対策設備等導入費用助成事業を利用し、照明や空調をエコ仕様に変更しました。手元が明るくなり作業がしやすくなっただけでなく、大幅な省エネ化にも成功しました。また、第2工場内は、24時間稼働可能なオートメーションシステムを導入し、お客様からの大量のご注文にも即座に対応が可能です。また当社の生産管理の要とも言える、第3工場に配備している画像自動選別装置は、紙ひとつひとつを画像として読み取り、全長・頭径・傾き・ねじ径等を500本/分の速度で選別、検品します。不良品をけって出さない為の設備投資を様々な形で行っています。人の手だけでなく機械の力もフルに活用し、より多くの納品を効率的に可能としています。



■ ものづくりのやりがいとはどんな時に感じますか？

お客様からのご要望へお応えしたく、製品づくりに日々取り組んでおります。製品は小さくとも、ひとつひとつにかかる責任はとて大きいです。町中を走っている自動車等の多くに当社の鋳が使われています。当たり前のようにそれらが動いて安全に稼働している。その事に気も留めないで済んでいるといった事に想いを馳せた時、作り手としての充実感がありますね。

また、そういった精神を理解してくれる社員が多くおり、一緒に製品づくりを長年続けられることを誇りに思います。当たり前がそこにある、その一助になれているという実感が、ものづくりを支える立場としての何よりのモチベーションだと思います。



■ 今後の展開についてお聞かせください。



創業100年の歴史をこれからの未来へ守り続けていくために、今後についてはより一層の「原点回帰、初心に忘れるべからず」で邁進していきたいと考えております。欲張らずにコツコツと積み上げてきた長年の実績を、これからもずっと大切にしていきたいです。また数年後には次期社長育成も始めていく予定です。自ら家業を継ぐと決心してくれた息子へ、しっかりと仕事を伝え事業の継承をしていきたいと考えております。ものづくりの現場を支え、これからの世代へ、安全で安定した製品作りを伝えていきたいと思っております。

守製鋳株式会社の皆さま
「えどがわ産業ナビ」インタビューにご協力頂き、本当にありがとうございました。



インフォメーション

所在地	東京都江戸川区中央2-19-14	Google Map ▶
最寄り駅	都営バス「新小29」『NTT江戸川支店前』徒歩1分	
電話番号	03-3651-0136	
FAX番号	03-3655-0838	
ホームページ	http://www.mori-seibyō.co.jp/	



[守製鋳株式会社TOPページはこちら ▶](#)